

## 研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

非浸潤性乳管がんに対する US と MRI の有用性の検証
<p>1. 研究の対象および研究対象期間</p> <p>2018年1月から2021年3月に当院で非浸潤性乳管がんと診断された方で、当院で手術を受けられた方</p>
<p>2. 研究目的・方法</p> <p>非浸潤性乳管がん(DCIS)は非常に早期の癌であるにも関わらず、乳管内を進展し広がるという特性を持つため、画像での広がり診断が重要です。診断には、マンモグラフィや乳房エコー、乳房MRIを使用した画像検査が一般的であるが、本研究では乳房エコーと乳房MRIに注目し、画像上の腫瘍径と術後病理腫瘍径と比較することで、どちらの検査機器がより正確にDCISを捉えられているかを検証します。また、今後乳癌診療において注目されると考えられる非侵襲的治療を行う際に、USとMRIどちらの検査機器が適しているかの前駆研究にもなる事も期待されます。</p> <p>本研究は、日本癌治療学会臨床研究助成金を用いて実施致します。</p> <p><b>研究期間</b></p> <p>「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院 病院長の研究実施許可を得てから2022年3月まで</p>
<p>3. 研究に用いる試料・情報の種類</p> <p>年齢、診断確定日、手術施行日、手術方法、生検方法、MMG所見(石灰化、腫瘤等)、US所見(腫瘤性か非腫瘤性病変か)、MRI所見(腫瘤性か非腫瘤性病変か)、病理組織学的診断</p>
<p>4. お問い合わせ先</p> <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも</p>

患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院（医学部外科学講座乳腺外科学部門） 研究責任者：中村 清吾

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8000